

## 地下鉄短信 (第266号) 平成28年11月29日発行

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 向田正博

電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187



### 記事 ○「平成28年度地下鉄事業現地見学会」を開催

#### ○「平成28年度地下鉄事業現地見学会」を開催しました。

去る11月25日(金)に、平成28年度地下鉄事業現地見学会を、普通会员及び賛助会員(19社局)28名の参加を得て開催しました。

この現地見学会は、地下鉄事業者等のご協力の下に、会員各位の知識・技術の啓発の場として、また、会員相互の交流の場として、平成11年度から毎年実施しているものです。



説明会風景

今回の見学会は、都市鉄道利便増進法に基づき、整備が進む「神奈川東部方面整備事業」のなかで、羽沢駅工区と新横浜駅工区の2か所の現場を見学しました。「神奈川東部方面整備事業」は「相鉄・JR直通線」(相鉄線西谷駅～JR東海道貨物線横浜羽沢駅付近)並びに「相鉄・東急直通線」(JR東海道貨物線横浜羽沢駅付近～東急東横線日吉駅)の2つの連絡線を整備するというものです。

当協会専務理事の開会挨拶の後、鉄道・運輸機構の田中所長から「神奈川東部方面整備事業」の事業概要を、角田副所長から「相鉄・JR直通線」の羽沢駅工区の工事説明を、次いで、横浜市交通局の谷畑副所長並びに望月係長から「相鉄・東急直通線」の新横浜駅工区の工事概要の説明を受けました。

会議室での概要説明の後、羽沢駅に移動し、完成した地下駅部を視察するとともに、地上部から地下部にレールを投入する状況を見ることが出来ました。400本のレール搬入作業は20日程度で完了することですが、この作業現場に立ち会えたのは極めて珍しいことでした。今後は、地上部の駅舎の築造が始まるとのことです。



レール投入状況



アンダーピニング工法

次いで、新横浜駅に戻り、横浜市営地下鉄ブルーライン線と直下で交差する新横浜駅工区を視察しました。当工区では、ブルーライン線躯体下を、NATM(ナトム)工法により横断方向に4か所のトンネルを築造しています。トンネル内では、躯体を仮受するアンダーピニング工法も見ることができました。交差部以外の開削区間では、年末には所定の深さである地下33mまで掘削が進み、コンクリート構造物の築造に入るとのことです。

今回の現地見学会は、前日の54年ぶりの降雪の影響が懸念されましたが、天候にも恵まれ、また珍しいレール搬入状況や、NATM工法、アンダーピニング工

法など特殊工法も見ることができ、有意義な現地見学会となりました。

❖機関誌「SUBWAY」(第211号) 発刊

・巻頭随想・・・京都市長 門川 大作

・特集・・・「まごころ」シリーズ～「訪日外国人対策」を考える～

東京都交通局、横浜市交通局、東武鉄道株、京成電鉄株

・「鉄道100年の歴史を超えて」・・・阪急電鉄 編

・シリーズ「地下鉄建設の歴史」②(東京の地下鉄を中心に)

・車両紹介 「南港ポートタウン線200系車両」・・・大阪市交通局

他

※当協会HPでもご覧いただけます。

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jmetro.or.jp